

わたしのひいおばあちゃん

弥生小学校 6年1組 森山 令菜

私は、八人家族で暮らしています。一番上は九十二歳のひいおばあちゃんから、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、お兄ちゃん、妹と私の八人です。

ひいおばあちゃんは、数年前から筋力が低下してきて、色々なことができなくなっています。ひいおばあちゃんは、歩くことが困難になっているので車椅子で生活しています。家の中は通路が狭く、何度も引っかかったり、今まで気づかなかった段差が大変だったり、自分で移動することが出来ないため、誰かのサポートが必要です。私も車椅子を押しますが、引っかかることが多いので、ひいおばあちゃんが安心して乗れるように頑張りたいです。

ひいおばあちゃんは、座るときに真っ直ぐ姿勢を保つことが出来なくてななめになってしまいます。背中が倒れてしまう方にクッション入れたり工夫したりします。それでも、姿勢が悪くなりながら食べることもあるので、気管にご飯が入らないか不安だし、コップでうまく飲めなくなっているのも心配です。ストローを使って飲んでいるけど、ストローで熱いお茶は飲めません。熱いお茶が好きなので飲めないのは、悲しいと思います。もっと楽に暮らせる方法はないのかな とも思います。

ひいおばあちゃんは、よく「学校はどうだった?」とか「習い事はどうだった?」と聞いてくれます。

ひいおばあちゃんは、耳が遠いので、ゆっくり大きな声で話すように心がけています。ひいおばあちゃんも、しっかり聞こうと努力してくれます。とても嬉しいです。もっとたくさん話がしたいので、これからも聞き取りやすいように話をしたいと思います。

おじいちゃんおばあちゃんが中心でひいおばあちゃんのお世話をしています。

私も、手伝いますが、見ているだけのこともあります。

もっと私もお世話できるように、教えてもらったり、お世話している様子を見て、覚えたいです。そして、安心して任せてもらえるようになりたいです。

ひいおばあちゃんが、百歳になると、私は二十歳です。

成長する姿をもっともっと見てもらいたいので、長生きしてほしいです。

長生きするためには、楽しくて楽な生活を送ってもらいたいと思うので、家族みんなでサポートしていけたらいいなと思います。



敬老祝賀会のお祝い

弥生小学校 6年1組 野口 千太



地域みなさん、いつも温かく見守っていただき、ありがとうございます。

毎日、朝早くから僕たちの登校を見守ってくださったり、学校で野菜を育てるときも手伝ってくださったりするのが、とてもうれしいです。

一年生のころは、下校の見守りをしてくださいました。いつも話し相手になってもらい、毎日楽しく終わることができました。話をしている時、ぼくはとても楽しかったです。

三年生の時、ぼくの家野菜がなかなか育たなくなって困っていたので、ボランティアの方に聞いてみました。すると、すぐに教えてくださったので、とても嬉しかったです。

ぼくは、地域みなさんの温かみを感じ、ぼくも同じように、みんなを助け、支え合うような人になりたいと思いました。

六年生の総合的な学習の時間に行っている「My テーマ探究」でも、ボランティアの方にお世話になっています。

僕は、軍艦が大好きで、けっこうくわしいことまで調べているのですが、ボランティアの方が、さらにくわしく教えてくださったので、びっくりしました。そして、とてもうれしかったです。自分が知らなかったことを知ることができたからです。

ぼくは、地域みんなが団結し、協力し合えば、なんでもできる気がしました。

これからも、いろいろ大変なことをお願いすると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

